

# データで見る侵入犯罪の脅威

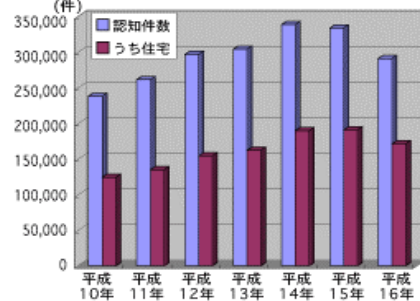
都市防犯プランニング社

平成14年、刑法犯認知件数が戦後最悪の285万3,739件を記録。平成15年は279万136件、平成16年は256万2,767件と若干減少したものの、治安が良いとされた昭和期と比べると、依然として約2倍となっているなど深刻な状況にあります。このような犯罪情勢の中で、家族の安全と財産を守る防犯対策を考えるためには、侵入犯罪の現状を知ることが非常に大切です。

## 侵入窃盗の認知状況の推移

平成10年以降増加していた侵入窃盗の認知件数は、平成15年は33万3,233件(前年比 - 1.5%減)、平成16年は、29万5,955件(前年比 - 12.8%)と減少しています。また、このうち住宅対象侵入窃盗は、平成15年は19万4,733件(前年比 + 0.6%)と増加していましたが、平成16年は、17万9,911件(前年比 - 10.2%)と減少しています。しかしながら、一日当たり約470件と、未だ多くの住宅がドロボーの被害に遭っているのです。

<侵入窃盗の認知状況の推移>

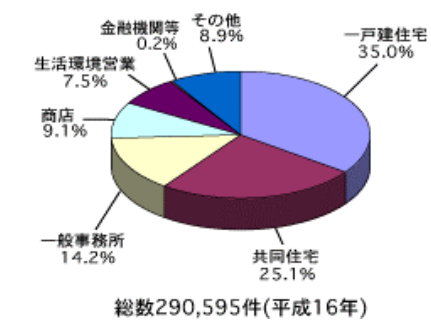


## 侵入窃盗の発生場所別認知件数

平成16年に認知した侵入窃盗の発生場所を見ると、住宅が17万4,519件(60.1%)と最も多く、次いで一般事務所が4万1,362件(14.2%)となっています。

住宅では、一戸建住宅が10万1,711件、共同住宅が7万2,808件となっています。

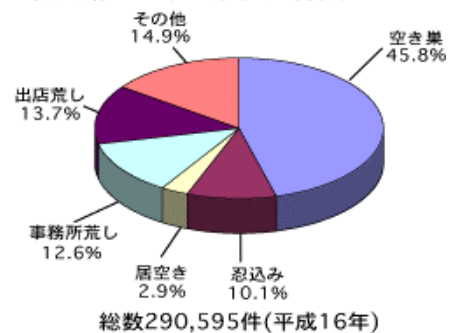
<侵入窃盗の発生場所別認知件数>



## 侵入窃盗の手口別認知件数

平成16年の侵入窃盗の手口別の認知件数は、空き巣、忍込み、居空きとも前年に比べ減少していますが、10年前(平成7年)に比べると、空き巣58%、忍込み5%、居空き14%、それぞれ増加しています。

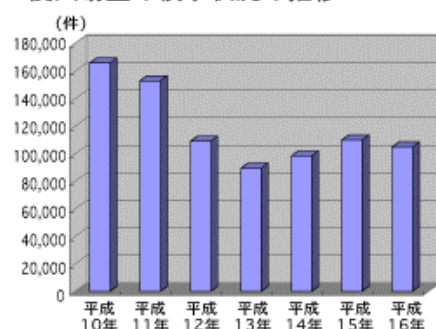
<侵入窃盗の手口別認知件数>



## 侵入窃盗の検挙状況の推移

検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少しましたが、検挙件数は平成14年、検挙人員は平成15年に増加に転じました。平成16年の検挙件数、検挙人員とも前年比 - 4.6%と減少しています。

<侵入窃盗の検挙状況の推移>



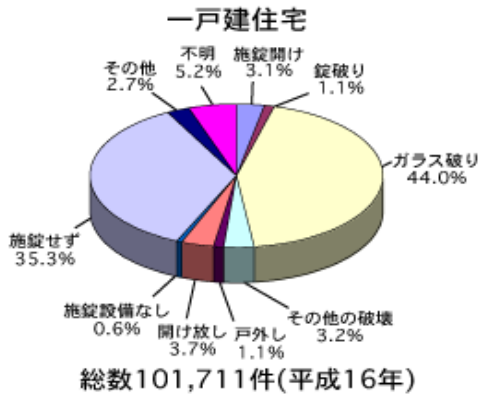
(警察庁HP資料)

# 手口で見る侵入犯罪の脅威

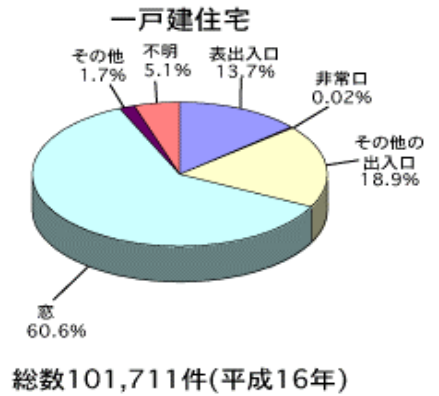
都市防犯プランニング社

侵入者は、常に「最も簡単に侵入できる方法」を考え、手口を研究しています。侵入者の出方・手口がわかれば、対策も講じられるというものです。その時々々の犯罪傾向を把握しておきましょう。

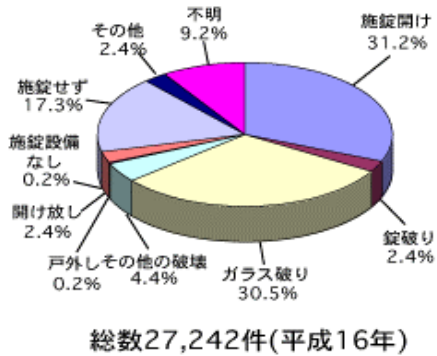
## 侵入窃盗の侵入手段



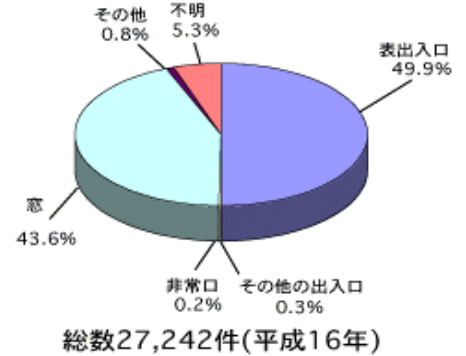
## 侵入窃盗の優入口



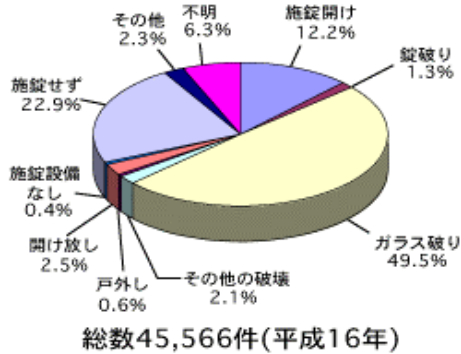
## 共同住宅(4階建以上)



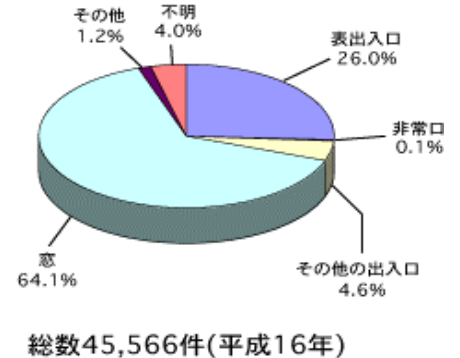
## 共同住宅(4階建以上)



## 共同住宅(3階建以下)



## 共同住宅(3階建以下)



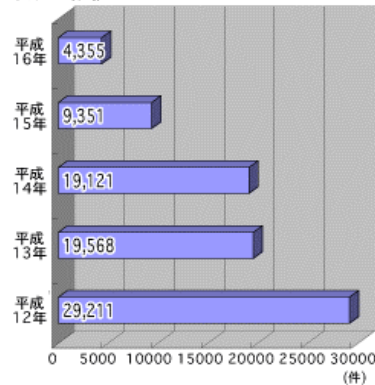
(警察庁HP資料)

## 【主な手口】

### ピッキング

ピックと呼ばれる金属製の特殊工具を鍵穴に入れ、ドアの錠を短時間で開けるとい手口。ピッキング手口に対応した錠でなければ、1分もかからずに侵入されてしまいます。

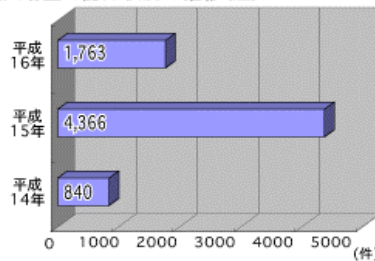
<ピッキング用具を使用した侵入窃盗の認知状況の推移>



### サムターン回し

玄関ドアの外側からドリルで穴を開けるなどして、サムターン(内側のドアロック用つまみ)を強引に回して侵入する手口。壊したドアスコープや取り外したドアノブの穴、ドアと壁の隙間などに特殊工具を挿し入れてサムターンを回すこともあります。また、郵便受けから強引に手を入れて回すケースもあります。

<ドリルを使用したサムターン回しによる侵入窃盗の認知状況の推移(注)>

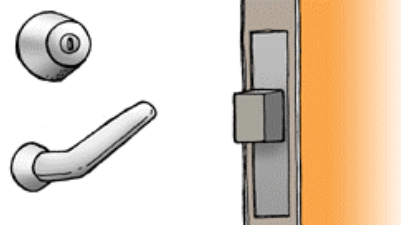


注：全国調査は、平成14年から実施しているため、平成13年以前の数値はない。



### カム送り解錠

特殊工具を用いて錠シリンダーを迂回し、直接錠ケース内部に働きかけてデッドボルトを作動させ解錠する手口。「バイパス解錠」とも呼ばれています。



### ドアのこじ破り

ドアと壁の隙間に、釘抜きのようなL字型をした工具・バールを押し込み、てこの原理でドア錠を破壊して侵入する手口。強引な方法ですが、手間がかからず短時間で侵入できます



### ガラス破り

クレセント(窓ガラスの錠)の周辺を破損し、そこから手を入れてクレセントを回して侵入する手口。通常のガラスであれば、わずか10~15秒で破損できます。近所への買い物やペットの散歩など、わずかな留守の間でも安心できません。

